

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	真友ライト		
○保護者評価実施期間	2025/10/1		2025/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2025/10/1		2025/10/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025/11/30		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の対応と支援の質 ・保護者が「こどもの特性を理解し、専門的な支援を受けられている」と回答 ・責任者との面談での丁寧な対応が評価されている	職員の対応と支援の質 ・定期的な面談を通じて、保護者の意見を反映した支援を提供 ・責任者を中心に、特性に応じた支援方法を構築	職員の対応と支援の質 ・職員の配置状況を可視化し、保護者の不安を軽減(掲示の工夫) ・より専門的なアプローチや助言を提供
2	個別支援計画と活動の多様性 ・保護者が「個別支援計画が作成され、それに沿った支援が行われている」と評価 ・活動プログラムが工夫され、固定化されていない ・目的別プログラムの体系化を図っている	個別支援計画と活動の多様性 ・活動プログラムの工夫と、子ども一人ひとりに合わせた支援を提供 ・学習スペースと遊びのスペースを分け、環境の構造化を実	個別支援計画と活動の多様性 ・学習時間の確保を増やし、学習支援の充実を図る(保護者からの要望あり)
3	情報共有と意思疎通の充実 ・保護者が「HUG」を通じて支援の内容が伝わっていると評価 ・相談時の迅速な対応が好評	情報共有と意思疎通の充実 ・LINEや「HUG」を活用し、保護者に支援の状況を伝達 ・送迎時のフィードバックを重視し、些細なことでも報告	情報共有と意思疎通の充実 ・保護者向けに支援プログラムの詳細を定期的に案内 ・相談・申入れの場をより分かりやすく周知

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースの確保 ・個室や刺激を避けられる構造が不十分	スペースの確保 ・利用者数の増加に伴い、物理的なスペース確保が難しくなっている	スペースの確保 ・見学契約時に必ずご説明するようし、パーティションや音などは引き続き工夫する
2	家族支援の充実 ・ペアレント・トレーニングや研修会の実施が不十分 ・きょうだい向けイベントの開催が少ない	家族支援の充実 ・研修会やイベントの開催における人員・時間の確保が課題 ・保護者の参加率が低いことが、実施頻度の少なさにつながっている	家族支援の充実 ・きょうだい参加型イベントの試験的实施 ・ペアレント・トレーニングの案内を定期的に発信し、参加しやすい形で提供
3	非常時対応の周知 ・避難訓練の実施を認識している保護者はやや低め ・事故防止マニュアルや緊急対応の周知が不十分	非常時対応の周知 ・訓練は実施しているが、保護者への周知が不足している ・防災マニュアルの配布や説明の機会が少ない	非常時対応の周知 ・避難訓練や防災計画の実施状況をLINEや通信で報告 ・事故防止マニュアル・緊急時対応マニュアルを保護者向けに配布